

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年 2 月 14 日

事業所名:ラ・メール(放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	規定に従いスペースを確保している。面談室、パソコンのスペースあり。子どもの活動に応じて区切りを設置している。	はい...80% わからない...8% いいえ...0% 無回答...0% どちらともいえない...12%	現状維持に努めていく。
	2 職員の適切な配置	保育士・児童指導員を配置している。児童10人に対し、職員を3人以上配置できるよう努力している。	はい...88% わからない...4% いいえ...4% 無回答...0% どちらともいえない...4%	現状維持に努めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所が2階にある為、車椅子の対応は難しい。階段ではスタッフが見守りしている。	はい...68% わからない...20% いいえ...0% 無回答...0% どちらともいえない...12%	現状維持に努めていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	空気清浄機、加湿器を設置するなど、細かい空調管理を行っている。	はい...80% わからない...4% いいえ...0% 無回答...0% どちらともいえない...16%	現状維持に努めていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的にPDCAサイクルを行い、職員同士でカンファレンスを行っている。		職員同士で意識を高めていけるよう研修の参加を促進し、研修報告にて情報を共有する。学ぶ姿勢や意欲を保てる環境作りをしていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	保護者にアンケートを行い、今後の業務改善の参考にしていく。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修の案内があれば職員に参加を促している。また、研修に参加した後は月1回の会議で研修報告を共有している。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者と連絡帳を通し細かく様子を聞いている。それを基にアセスメントを行っている。		保護者との連絡を密に行い、子どもの発達を捉え、集団活動も適宜取り入れた本人主体の計画を作成していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動に重点を置いた計画になっている。	はい...84% わからない...2% いいえ...6% 無回答...0% どちらともいえない...8%	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	学習が中心の計画ではあるが、各個人に適した支援内容を設定している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に基づいた支援を行い、日々の気づきに着目している。	はい・・・80%  わからない・・・8% いいえ・・・0%  無回答・・・0% どちらともいえない・・・12%	現状維持に努めていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	同じプログラムであってもそれぞれの子どもの目標を明確にしたプログラムを立案している。		保護者と子ども本人のニーズに合わせ計画を立案、実施していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、長期休暇に応じて活動を計画し、支援している。	はい・・・68%  わからない・・・12% いいえ・・・4%  無回答・・・0% どちらともいえない・・・16%	保護者への更なる周知を図るよう努める。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの状況に応じてプログラムの内容を調整している。		学習が中心となっているため、遊びを取り入れた療育を実行していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に申し送りを行っている。		子どもの笑顔を常に引き出せるような環境作りを行う。 スタッフ一人一人の気づきを大切に、子どもの個性に着目し、ストレングスの視点で関わっていけるよう努めていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	翌日、支援開始前の申し送り時に行う。休みの職員には申し送りノートを活用し情報を共有する。当日に話し合う必要性がある場合は時間を作り話し合う。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日サービス提供記録を記入し、共有している。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	約半年ごとにモニタリングを行い、それに沿って計画の見直しを行っている。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	市や区の担当者会議に毎月参加している。	現状維持に努めていく。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的なケアが必要な子どもはいない		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的なケアが必要な子どもはいない		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて情報の共有を行っている。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	相談支援事業所や特別支援学校の先生と連絡を取り合い、情報の共有を図っている。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	支援センターが主催する研修に参加している。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童クラブ、児童間との交流は行っていない。 地域の催し物には積極的に参加している。	はい…56% わからない…28% いいえ…8% 無回答…0% どちらともいえない…8%	保護者への周知を図るよう努める。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	まだできていない。	はい…56% わからない…28% いいえ…8% 無回答…0% どちらともいえない…8%	地域の子どものとの交流を兼ねて、子ども食堂の開催を企画している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明し、変更のある場合はその都度説明している。	はい…88% わからない…0% いいえ…4% 無回答…0% どちらともいえない…8%	更にわかりやすく丁寧な説明をするように努める。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を示しながら内容の説明を行っている。	はい…88% わからない…0% いいえ…8% 無回答…0% どちらともいえない…4%	更にわかりやすく丁寧な説明をするように努める。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	個別の対応で行っている。	はい…64% わからない…8% いいえ…20% 無回答…4% どちらともいえない…4%	現状維持に努めていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳の利用や送迎時・不定期の面談等を行い共通理解を図っている。	はい…88% わからない…0% いいえ…8% 無回答…0% どちらともいえない…4%	現状維持に努めていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	電話や面談でその都度対応している。	はい…84% わからない…0% いいえ…8% 無回答…0% どちらともいえない…8%	現状維持に努めていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在保護者同士の連携はとれていない。	はい…32% わからない…8% いいえ…36% 無回答…8% どちらともいえない…16%	今後、父母の会等の設置を検討する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	当日に解決するよう心掛けている。当日に解決が難しい場合は説明をした上で後日対応している。	はい…64% わからない…24% いいえ…0% 無回答…8% どちらともいえない…4%	現状維持に努めていく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	理解しやすい言葉、文章で連絡を取り合う。何度でも説明を行うようにしている。	はい…88% わからない…4% いいえ…0% 無回答…4% どちらともいえない…4%	現状維持に努めていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	事前に随時お知らせを配布している。会報等の発行はしていない。	はい…56% わからない…32% いいえ…4% 無回答…4% どちらともいえない…4%	現状維持に努めていく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報がかかれているものは鍵付の書庫で保管している。	はい…80% わからない…16% いいえ…0% 無回答…4% どちらともいえない…0%	現状を維持する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	定期的に職員研修を実施している。	はい・・・60% わからない・・・20% いいえ・・・4% 無回答・・・4% どちらともいえない・・・12%	更に保護者への周知を図るよう努める。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年1回非常災害の訓練を行っている。火災訓練では消防署に訓練報告を行っている。	はい・・・56% わからない・・・28% いいえ・・・8% 無回答・・・4% どちらともいえない・・・4%	更に保護者への周知を図るよう努める。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回社内研修を行っている。また虐待防止などの社外研修にも参加し、社内での研修内容の共有に努めている。		現状維持に努めていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束を行うケースがない。		現状維持に努めていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	事前に保護者にアレルギーの有無、既往歴、内服の確認を行っている。		現状維持に努めていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがある場合はその都度話し合い、月1回行う会議の場で報告し、情報を共有している。		現状維持に努めていく。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年 2 月 14 日

事業所名:ラ・メール(児童発達支援)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	規定に従いスペースを確保している。面談室、パソコンのスペースあり。子どもの活動に応じて区切りを設置している。	はい・・・100% わからない・・・0% いいえ・・・0% 無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	現状維持に努めていく。
	2 職員の適切な配置	保育士・児童指導員を配置している。児童10人に対し、職員を3人以上配置できるよう努力している。	はい・・・100% わからない・・・0% いいえ・・・0% 無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	現状維持に努めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所が2階にある為、車椅子の対応は難しい。階段ではスタッフが見守りしている。	はい・・・100% わからない・・・0% いいえ・・・0% 無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	現状維持に努めていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	空気清浄機、加湿器を設置するなど、細かい空調管理を行っている。	はい・・・100% わからない・・・0% いいえ・・・0% 無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	現状維持に努めていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的にPDCAサイクルを行い、職員同士でカンファレンスを行っている。		職員同士で意識を高めていけるよう研修の参加を促進し、研修報告にて情報を共有する。学ぶ姿勢や意欲を保てる環境作りをしていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	保護者にアンケートを行い、今後の業務改善の参考にしていく。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修の案内があれば職員に参加を促している。また、研修に参加した後は月1回の会議で研修報告を共有している。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者と連絡帳を通し細かく様子を聞いている。それを基にアセスメントを行っている。		保護者との連絡を密に行い、子どもの発達を捉え、集団活動も適宜取り入れた本人主体の計画を作成していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動に重点を置いた計画になっている。	はい・・・100% わからない・・・0% いいえ・・・0% 無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	学習が中心の計画ではあるが、各個人に適した支援内容を設定している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に基づいた支援を行い、日々の気づきに着目している。	はい・・・100% わからない・・・0% いいえ・・・0% 無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	現状維持に努めていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	同じプログラムであってもそれぞれの子どもの目標を明確にしたプログラムを立案している。		保護者と子ども本人のニーズに合わせ計画を立案、実施していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、長期休暇に応じて活動を計画し、支援している。	はい・・・100% わからない・・・0% いいえ・・・0% 無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	保護者への更なる周知を図るよう努める。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの状況に応じてプログラムの内容を調整している。		学習が中心となっているため、遊びを取り入れた療育を実行していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に申し送りを行っている。		子どもの笑顔を常に引き出せるような環境作りを行う。 スタッフ一人一人の気づきを大切に、子どもの個性に着目し、ストレングスの視点で関わっていけるよう努めていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	翌日、支援開始前の申し送り時に行う。休みの職員には申し送りノートを活用し情報を共有する。当日に話し合う必要性がある場合は時間を作り話し合う。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日サービス提供記録を記入し、共有している。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	約半年ごとにモニタリングを行い、それに沿って計画の見直しを行っている。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	市や区の担当者会議に毎月参加している。		現状維持に努めていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的なケアが必要な子どもはいない		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的なケアが必要な子どもはいない		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて情報の共有を行っている。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	相談支援事業所や特別支援学校の先生と連絡を取り合い、情報の共有を図っている。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	支援センターが主催する研修に参加している。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童クラブ、児童間との交流は行っていない。 地域の催し物には積極的に参加している。	はい・・・100%    わからない・・・0% いいえ・・・0%    無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	保護者への周知を図るよう努める。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	まだできていない。	はい・・・100%    わからない・・・0% いいえ・・・0%    無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	地域の子どものとの交流を兼ねて、子ども食堂の開催を企画している。



区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明し、変更のある場合はその都度説明している。	はい…100% わからない…0% いいえ…0% 無回答…0% どちらともいえない…0%	更にわかりやすく丁寧な説明をするように努める。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を示しながら内容の説明を行っている。	はい…100% わからない…0% いいえ…0% 無回答…0% どちらともいえない…0%	更にわかりやすく丁寧な説明をするように努める。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	個別の対応で行っている。	はい…100% わからない…0% いいえ…0% 無回答…0% どちらともいえない…0%	現状維持に努めていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳の利用や送迎時・不定期の面談等を行い共通理解を図っている。	はい…100% わからない…0% いいえ…0% 無回答…0% どちらともいえない…0%	現状維持に努めていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	電話や面談でその都度対応している。	はい…100% わからない…0% いいえ…0% 無回答…0% どちらともいえない…0%	現状維持に努めていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在保護者同士の連携はとれていない。	はい…100% わからない…0% いいえ…0% 無回答…0% どちらともいえない…0%	今後、父母の会等の設置を検討する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	当日に解決するよう心掛けている。当日に解決が難しい場合は説明をした上で後日対応している。	はい…100% わからない…0% いいえ…0% 無回答…0% どちらともいえない…0%	現状維持に努めていく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	理解しやすい言葉、文章で連絡を取り合う。何度でも説明を行うようにしている。	はい…100% わからない…0% いいえ…0% 無回答…0% どちらともいえない…0%	現状維持に努めていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	事前に随時お知らせを配布している。会報等の発行はしていない。	はい…100% わからない…0% いいえ…0% 無回答…0% どちらともいえない…0%	現状維持に努めていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報がかかれているものは鍵付の書庫で保管している。	はい…100% わからない…0% いいえ…0% 無回答…0% どちらともいえない…0%	現状を維持する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	定期的に職員研修を実施している。	はい・・・100% わからない・・・0% いいえ・・・0% 無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	更に保護者への周知を図るよう努める。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年1回非常災害の訓練を行っている。火災訓練では消防署に訓練報告を行っている。	はい・・・100% わからない・・・0% いいえ・・・0% 無回答・・・0% どちらともいえない・・・0%	更に保護者への周知を図るよう努める。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回社内研修を行っている。また虐待防止などの社外研修にも参加し、社内での研修内容の共有に努めている。		現状維持に努めていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束を行うケースがない。		現状維持に努めていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	事前に保護者にアレルギーの有無、既往歴、内服の確認を行っている。		現状維持に努めていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがある場合はその都度話し合い、月1回行う会議の場で報告し、情報を共有している。		現状維持に努めていく。